

まぶたのふさがり(眼瞼下垂症)

がんけん か すい



川口市立医療センター

形成外科

わたなべ なみ
渡部 奈見

最近、まぶたのふさがりを感じることはありませんか？視野が狭くなった、ものが見えにくくなった、目が開けづらくなった、目が疲れやすい、これらの症状が当てはまる場合、眼瞼下垂症の可能性があります。

眼瞼下垂症とは、上まぶたが十分に上がらない状態のことです。まぶたは付着する2種類の筋肉が、**瞼板**と呼ばれる硬い板を引っ張り上げることで開きます。筋肉と瞼板は、**腱膜**という組織でつながっており、これが加齢によりたるんでくるとまぶたが上がりにくくなってしまいます。多くは加齢が原因で、皮膚のたるみや筋肉の衰えも、加齢性眼瞼下垂症の原因となります。

まぶたが上がらないため、おでこの筋肉で代償しようとし、まゆ毛の位置が高くなったり、額のしわが目立つようになります。また、頭痛や肩こりの原因になることもあります。

これらを改善するために、たるんだ皮膚を切除し、伸びた腱膜を縫い縮める手術があります。術後は視野が広がり、頭痛や肩こりの改善も期待できます。

まぶたのふさがりを感じたら放置せず、まずは形成外科を受診してみましょう。



がんの予防には、生活習慣の見直しと定期的ながん検診が重要です

がんは日本人の死因の第1位です。現在日本人の2人に1人はがんにかかり、3人に1人ががんで亡くなります。がんは、全ての人にとって身近な病気ですが、生活習慣の見直しによって「なりにくくする(予防する)」ことができる病気です。

がん発生のリスクを下げるためのポイント

禁煙



バランスのとれた食生活



適度な運動



適正体重の維持



定期的ながん検診を受けましょう

がんを予防する生活を心がけていても、100%予防することはできません。

がん検診を受けることによって、自覚症状がない早期の段階で発見できる可能性があります。新型コロナウイルス感染症の流行により検診を控えることで、がんの早期発見・早期治療の機会を逸することが懸念されています。マスクの着用や手指の消毒などの感染予防に十分注意し、定期的ながん検診を受けましょう。

市のがん検診は、令和4年2月末まで実施しています。
詳細は、地域保健センターまでお問い合わせください。



川口市けんしんガイドブック

問 地域保健センター ☎048-256-2022 FAX048-256-2023

ワンポイント手話講座

スポーツを楽しむのに適した季節になりました。今月は「スポーツ」と「秋」を紹介します。

スポーツ

両方の手のひらを開き、走るように体の左右で交互に回します。



秋

前方から顔に風を送るように、両手をおおぐような動作を数回行います。



問 障害福祉課

☎048-259-7926

FAX048-259-7943



笑顔をお届け

株式会社枝堀園

常務取締役

朝倉

雄馬さん

「前職はお笑い芸人だったんですよ。」と驚きの過去を笑顔で語るその人は、祖父の代からの造園会社を切り盛りする朝倉さん。人に喜んでもらうためにはどうしたらよいか徹底的に突き詰める丁寧な仕事に、信頼が集まっている。子どもの頃から人を喜ばせ笑顔にすることが好きだった。高校卒業後、自分は人を笑わせる、と芸人の道へ。家業を継ぐものと信じていた祖父と父は猛反対。取っ組み合いのけんかの末、家を飛び出し始めた芸人人生は1畳1間のアパートからだった。

ネタを考えては劇場で披露する日々。全ては芸の肥やしと、水族館での魚の解説員や、中学校での一日教師など何でもやった。お金もなく、決して順風満帆ではなかったが、笑顔が絶えない充実した時間の連続だった。

見知らぬ土地で一から力を試そうと「佐渡島お笑い親善大使」に応募。見事オーディションでその座を勝ち取ったものの、慣れない環境もあり、始めは誰も見向きもせず、客席はガラガラだった。それでも、芸を磨くことはもちろん、地域の祭りに参加し、米の収穫を手伝うなど、ただ島民に喜んでもらおう、その一心で努力を重ねた。次第に、芸の幅も広がり、島を離れるときには会場に入りきらない程の島民が駆け付け、その笑顔はたくさん溢れた。

